

PCエクストラロード橋

長者ヶ橋

長者ヶ橋は、新潟県が計画する主要地方道佐渡一周線の一環として建設された5径間連続PCエクストラロード橋である。

架設地点である小木町深浦は国立公園内にあり、かつ天然記念物隆起岩を有する屈指の景勝地となっており、本橋は島民の重要な生活道路としては勿論、観光地のランドマークとなった。

日本海側の厳しい環境条件を考慮して、斜材の定着部を桁内としたために主桁断面形状は張出し部の無い台形断面となっている。また斜材については三重防錆仕様(エポキシ樹脂塗装鋼線・ポリマーグROUT・フッ素樹脂塗装保護管)を採用し、更に、主桁及び主塔については塩害塗装を施して耐久性向上に配慮した。

当初の斜材架設計画は総足場であったが、施工性・安全性を改善するために再検討し、タワークレーンを利用したメッセンジャーケーブル方法による斜材架設とした。

19本の斜材のストランドを挿入後にメッセンジャーケーブルを取り外し、斜材の本緊張を行った。この一連の作業により斜材架設を安全に、かつ良好に実施することができた



発注者	: 新潟県
工事名	: 主要地方道佐渡一周線離島地方道改築 深浦大橋(上部工)工事
施工地	: 新潟県佐渡郡小木町深浦地内
橋長	: 294m
完成年度	: 2001年度